



上島町

議会だより

令和4年

6月号

Vol.67

主な内容

- ・定例会……………P4 ～ P6
- ・予算決算委員会……………P8 ～ P13

令和4年 第1回全員協議会

令和4年3月2日 弓削総合庁舎議場にて全員出席で開催

【報告事項】 ※抜粋

魚島航路改善計画

令和4年2月16日に第3回魚島航路改善協議会において確認・承認された主な改善計画の内容が以下の通り示された。

●安全運航体制の維持・確保

- ・使用船舶の改善 ⇒ 現船と同等の性能を維持する**新船の建造**

●収支改善策

- ・運航便数 ⇒ 1日4便の現状を維持する
- ・航路利用促進 ⇒ 行政、住民、その他関係者が協議して取り組む
- ・運賃水準 ⇒ 経費支出を優先させ運賃値上げは最終的な対策とする
- ・人員体制 ⇒ 安全運航確保のため現在の3人体制を維持する

●その他

主な質問事項

濱田 高嘉 議員

・魚島航路改善協議会に議員の参加が無いが、今後も議会へは説明のみか

荒井公営事業課長

・今後、協議の必要に応じて議員の参加を依頼する。

芸予汽船株式会社の第35期（令和3年1月～12月）の決算報告

コロナ禍で利用者の減少する芸予汽船の第35期決算報告が行われた。令和3年にのべ利用者数は若干増加した。使用船舶の燃料費の高騰、定期検査費用等の支出の増加により営業損益は増加。

また、岩城橋開通に伴う利用者減が想定され、令和4年4月1日からの7便運航の時刻表が提示された。



芸予汽船を利用する通学生

主な質問事項

徳永 貴久 議員

・4月以降の状況を踏まえた決算見込みは。

荒井公営事業課長

・燃料の高騰状況にもよるが赤字は増加する見込み。

濱田 高嘉 議員

・令和4年4月から7便とした理由は。

・上島町の負担、7,000万円程度は維持されるのか。

荒井公営事業課長

・ワーキンググループにより、岩城橋開通後の利用状況の予測が立たない為、現在の利用者、主に通勤・通学者の利便性を損なわない様、7便運航で様子を見ることとなった。

令和4年度機構改革

岩城橋開通に合わせ、各課の人員集約を伴う機構改革を実施する。

1. 建設課の集約……生名庁舎、岩城庁舎人員配置をやめ、弓削庁舎に集約
2. 技術管理室を弓削庁舎に新設
3. 健康推進課の集約……岩城保健センターの人員配置をやめ、生名庁舎に集約
4. 教育課の集約……岩城庁舎の人員配置をやめ、佐島（弓削）に集約
5. 観光、商工部門を産業振興課から独立……せとうち交流館から岩城庁舎に移転後分課



事務所が無人化した岩城保健センター

主な質問事項

大西 幸江 議員

- ・せとうち交流館の管理に人員は残さないのか。

今井総務課長

- ・職員を最小限配置する予定です。

濱田 高嘉 議員

- ・各庁舎は今後も維持するのか。

上村町長

- ・現時点で庁舎の廃止予定はない。

池本 光章 議員

- ・人件費削減と言うが、岩城保健センターの無人化は住民サービスの低下になるのでは。

上村町長

- ・担当が赴く等、住民に迷惑を掛けないよう取り組む。

補正予算 ここがポイント！

一般会計（歳入）

コロナ影響により徴税 1,612 万 4 千円減額

一般会計（歳出）

新型コロナワクチン接種事業

3回目接種のため 3,642 万 4 千円増額

繰越事業

- ・住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業
申請期間が9月末までのため
- ・いきなスポレク多目的グラウンドトイレ新設事業
コロナ禍により資材の入手ができなかったため



トイレ新設予定場所

○産業建設委員会所管事務調査報告

産業建設委員会では調査中案件、佐島一般廃棄物最終処分場審議が終了したため、会議規則第77条の規定により調査結果報告及び、政策提言を提出した。

調査結果

- 工事費や処理能力から、1㎡当たり10万円の処理費となる。
- 処分場容量があまりにも小さい。



報告する蔵谷委員長

政策提言

上島町佐島一般廃棄物処分場の運用

上島町佐島一般廃棄物における廃棄物処理について、施設長寿命化の観点から焼却灰のみとし、安定型廃棄物は取り扱わないようにすべきである。当面は佐島処分場を活用し、容量を勘案しながら、処分場の整地、増設を計画、検討するのが良い。



佐島一般廃棄物処分場

主な議案等に関する審議結果

○上島町中小企業振興資金融資条例

上島町内における中小企業者の経営の安定及び設備の近代化に必要な資金の融通を円滑にし、企業の健全な育成振興を図るため制定。

○融資金の使い途

事業に必要な設備資金又は運転資金

○融資の期間及び限度額

5年以内、限度額は500万円

○上島町サウンド波間田条例

上島町サウンド波間田に指定管理制度を導入することにより、民間事業者の能力を活用しつつ観光事業の振興及び地域の活性化に資するため制定。



指定管理となるサウンド波間田

○令和4年度一般会計予算並びに特別会計予算

一般会計予算並びに特別会計予算、計16件を予算決算委員会に付託しました。詳細記事は、8ページから13ページをご参照ください。

3月 定例会

令和4年第1回定例会は、3月8日～18日で開かれました。
提出された44議案を審議した結果、予算認定案16件については、予算決算委員会に審査を付託後、原案可決。
一般質問は5名でした。

○令和3年度一般会計補正予算並びに特別会計補正予算

一般会計 1億8,500万円減額 特別会計 1億3,210万円減額

繰越明許費（年度内に予算執行出来なかったため繰越予算化するもの）

耐震性貯水槽設置工事 1,990万円

理由

- ・地盤調査の結果、地盤改良工事が必要になったため。

事業の一部変更等

災害情報伝達システム構築工事 △1,298万4千円

理由

- ・当初、個別端末機1,000台の購入契約だったが、半導体不足により500台への契約変更。
- ・個別端末機の配布は472世帯。560台準備ができ、対象者への配布に問題はない。



完成した佐島耐震性貯水槽



個別端末機

○令和4年度 上島町一般会計予算修正案

生名立石多目的グラウンド休憩所新築工事 3,881万9千円、学生寮実施設計業務委託 3,700万円減額

賛成討論！

2点の減額要望であります。第1点は弓削高校学生寮の実施計画業務委託料3,700万円。この定例議会関連まで何も説明を受けておりません。学生寮建設総事業費4億9,000万円（公民館取り壊しから完成まで）。二分の一は離島活性化交付金、上島町の持ち出しは9,000万円、残りは合併特例債等、国から補助を受ける。

公民館の取り壊しを含め今しか事業ができない旨の説明がありましたが、現時点における弓削高校の生徒数、将来の入学予定者数等、何の説明もありません。伊方町の学生寮の視察をしてきたそうですが、成果説明もなければ議会への視察同行の問いかけもありませんでした。令和4年までは特例措置により、弓削高校と中島分校は1学年20人を超えれば廃校はないようですが、令和5年から10年間の再編計画が進められており、中間発表として1学年30人以下が2年続くと募集停止になることがあると聞いています。果たして行政及び学校サイトにおいて町外から生徒を引き寄せるいかなる施策を検討しているのか。令和5年、令和6年と2年続いて31人に届かず、生徒の募集停止になる可能性が高いと考える。2点目は生名立石多目的グラウンド休憩所新築工事の3,881万9千円。今施設の統廃合が進められている中、新設する必要があるのか。現存施設の改修利用は考えられないのか。



池本 光章 議員

今後の上島町内生徒・児童数推移

令和4年4月1日現在

中学校 (入学年)	中3 (R5)	中2 (R6)	中1 (R7)	小学校 (入学年)	小6 (R8)	小5 (R9)	小4 (R10)	小3 (R11)	小2 (R12)	小1 (R13)
弓削中	19	18	16	弓削小	10	17	15	15	12	7
				生名小	0	3	9	8	6	5
岩城中	8	11	9	岩城小	8	19	14	16	10	17
魚島中	1	0	2	魚島小	0	0	1	0	0	0
合計	28	29	27		18	39	39	39	28	29

○令和4年度 上島町一般会計予算

反対討論！

本予算は、ちぐはぐな点が多くみられる。

社会福祉協議会の予算の減額は、県からの委託事業で減額分が賄えるという説明でした。ところが、同じように上島町観光協会育成補助金は、町からの委託事業が多額であるにもかかわらず、まったく減額されていない。

委託事業に関しても、ゆげ海の駅舎管理業務、才の木亭管理業務などは、本来委託の範囲である仕事をやっていない状況であるにもかかわらず、予算額は例年と変わらず、適切な予算であるのか疑問がある。

岩城庁舎屋上に設置する太陽光発電に関しては、主要事業の説明には「災害時に自律的に稼働する蓄電池設備を整備する」と記載するも、予算審議では、災害時には使えないと発言するなど、一つ一つの予算に対して、しっかりとした協議があったとは思えず、補助金が付くから、有利な起債があるからということで、経済的な事業だと町長自身も発言されており、設置目的の説明が定まらない。

また、予算編成の基本方針に「岩城橋が完成するため、上島町の未来へつながる町づくりの実現に向け」とあるが、踏み込んだ予算は散見されず、今まで通りの予算が並んでいる。



大西 幸江 議員

反対討論！

3点の予算計上について疑義を感じるので反対します。1点目は衛生費、清掃費、塵芥処理費の塵芥収集運搬処理業務についてです。この予算計上額を見る限り最も高い価格の予算計上としか思えません。また、幅広く見積書の提出を募集していたとは思えないところがあります。2点目は上島クリーンセンター長寿命化計画策定業務です。上島町における地産地消によるごみ処理からの環境型社会推進モデル構築調査として報告書が提案されております。いかに環境に負荷をかけない行動をとるのか、まず一番に私たち政治に関わる者が意識しなくてどうするのですか。3点目は岩城総合支所太陽光発電設置工事です。太陽光発電が悪いと言っているのではないのです。5年先、10年先を見据えた計画性をもってやって頂きたい。



池本 光章 議員

○令和4年度 上島町生名船舶事業会計予算

反対討論！

立石港務所管理業務は、年間2億以上の公金を扱う町の事業であり、岩城橋開通後には3億円以上の公金を扱うことが予想される。地方自治法では、公金を私人に扱わせることは禁止されており、現在取り扱っているものは、地方自治法施行令で取り決めを行った範囲である。このことから、行政の金銭に関しては、基本行政で取り扱うものと考えられる。3億円を超えると予想される公金を民間委託して扱うのは、問題がある。また、公営に戻したばかりであり、町の行政運営の一貫性といった観点からも、たびたび形態を変えることは、行政運営への不信を招きかねない。

答弁の中で「行政は民に劣る」というような趣旨の発言があったが、一概には言えないし、民間のほうが安いということもない。

今回、長江フェリーの就業保障事業だというのが、そもそも長江一土生間の航路を町民の足として維持する方向に向かっているならば、こういう状況にはならず、民間委託の話が出た段階では、長江フェリーが運航を辞めるという話は、まったくなかった。長江フェリーの就業保障という話は、たまたまそうなっただけであって、根本的な問題を見失ってはいけない。



大西 幸江 議員

一目でわかる審議結果

賛否の分かれた議案

賛成：○ 反対：× 欠席：欠 地方自治法第117条による退場者：—

議案名	議員名	徳永貴久	林敬生	藤田徹也	山上耕司	宮地利雄	林康彦	池本光章	蔵谷重文	大西幸江	亀井文男	濱田高嘉	池本興治	寺下満憲	前田省二	審議結果
上島町駐車場条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	賛成 12人 可決
令和4年度上島町一般会計予算		○	○	○	○	○	欠	欠	○	×	○	欠	欠	×	—	賛成 7人 可決
令和4年度上島町生名船舶事業会計予算		○	○	○	○	○	欠	欠	○	×	○	欠	欠	○	—	賛成 8人 可決

全会一致の可決議案

上島町防災行政無線通信施設条例を廃止する条例	上島町消防団員の定員、任免、報酬及び含む等に関する条例の一部を改正する条例
上島町中小企業振興資金融資条例	上島町議会議員等報酬及び費用弁償条例の一部を改正する条例
上島町サウンド波間田条例	令和3年度上島町国民健康保険事業会計補正予算（第2号）他 特別会計補正予算 10件
上島町税条例の一部を改正する条例	防災情報伝達システム構築工事請負契約の一部変更について
町道路線の廃止及び認定について	上島町特定環境保全公共下水道生名浄化センター他の建設工事委託に関する協定の一部を変更する協定の締結について
令和3年度上島町一般会計補正予算（第8号）	上島町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
上島町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和4年度上島町国民健康保険事業会計予算他 特別会計予算 12件
令和4年度上島町上水道事業会計予算	上島町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
上島町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	

予算決算委員会

令和4年3月11、14日 弓削総合庁舎議場にて全員出席で開催（11日、藏谷委員が途中欠席）

予算決算委員会委員長報告

議案第28号「令和4年度上島町一般会計予算」については修正案が提出され、6対5の賛成多数をもって可決。そして、その修正部分を除く原案については、9対2の賛成多数をもって可決すべきものと決定。

議案第42号「令和4年度上島町生名船舶事業会計予算」については、修正案が提出され、4対7の賛成少数をもって否決。そして、原案については、9対2の賛成多数をもって可決すべきものと決定。

なお、他の議案第29号から第41号及び第43号の特別会計等については、出席委員の全会一致をもって可決すべきものと決定した。

議員間討議

生名立石多目的グラウンド 休憩所新築工事

池本光章委員

- ・イベント等は今までどおり開発センター利用で十分できる。4千万円かけて新たな施設を造る必要がない。また、岩城橋開通後は駐車場利用が増える事が予想されるのに、その駐車場にスペースを確保するのは問題。

寺下 満憲 委員

- ・施設を造っても、運用の問題。マラソン等においても、その時に休憩所がなくて困ったという声は聞かない。開発センターを更衣室等として使用したり、音響設備も移動できるもので賄ってきている。多目的運動場であり、それだけの設備はいらない。

立石港務所管理業務

池本光章委員

- ・公金取扱いに民間が入るのは賛成できない。民間航路会社の生活安定補償ということであるが、それならば、社員を職員として雇い入れれば、補償は充分である。直営で行くのが正解である。

林 敬生 委員

- ・今従事している職員も会計年度職員とパート2、3名でやっており、事情によってはパートを増やして対応できる。
- ・公金の扱いについては、町の職員であっても事故は皆無ではない。

学生寮実施設計業務

徳永貴久委員

- ・将来の子どもたちに選択肢を残す意味でも今動かなければ間に合わない。何もせず廃校になるのを待つのか、精一杯動いて結果を待つのかの選択である。

藤田徹也委員

- ・356人ものオンライン説明会への参加がありながら、最終4人の入学者であった理由は、食事と住居の問題。費用面では、補助等により、町の負担はわずかである。

大西幸江委員

- ・寮があれば生徒は来る可能性は増えるが、新設するのはどうか。財政厳しく、あり方検討会でも建物を減らす流れであり、現存施設のリフォーム等、やり様がある。

寺下満憲委員

- ・全協等で本格的な議論がなされてなく、次期尚早である。今ある公共施設、空き家バンクの登録等を見直すこと。全国的に子どもが減る中、上島町に何の魅力を持ってくるか、寮だけではなく、議会と行政が相談する時間が必要。

上島町一般会計予算に対する修正案（提出者：大西幸江委員）

生名立石多目的グラウンド休憩所新築工事 3,881 万 9 千円、
学生寮実施設計業務委託 3,700 万円減額

提案理由（要旨）

生名立石多目的グラウンド休憩所新築工事は、すぐそばに生名開発センターがある。今後混雑が予想される立石港の駐車スペースを利用、トイレが設置されていないなど利便性に欠ける設計である。学生寮実施計画業務委託は拙速に新しい建物を造ることは、将来の負担につながる。公共施設の在り方検討協議会も実施されており、いま一度、10 年先の上島町の姿を見据えた計画を望む。



＜反対討論＞「町外からの高校生受入れは必要不可欠」

県の高校整備計画で、地元市町がどのような姿勢で高校を支援していくのかをみている。その中で町が動いたのはこの寮建設。全国募集で、食、住の確保を求める生徒、保護者側の意見を反映したもの。将来の子どもの数を考慮すると、町外からの高校生受入れは必要不可欠であり、寮建設に対する町の動きを支持する。



徳永貴久委員

＜賛成討論＞「既存施設の活用を」

生名立石多目的グラウンドについては、既存の施設があるのになぜ 4,000 万円をかけ建設するのか。弓削高寮の問題は、寮があれば生徒は集まるであろうと推測はできる。ただ、それがなぜ新築にすぐ結びつくのか。町の公共施設を活用し、定員が多くなり、部屋が足りない状況となって初めて新築という話ならば理解できるが、先の見通しが無い、造ったら生徒は来るだろうという感覚で高額な予算をかけ建設するのは反対。



濱田高嘉委員

＜反対討論＞「子どもたちに高校進学の実機を残す」

学生寮実施計画業務委託については、公民館の取壊し、弓削高校学生寮設計、施工の予算は一連であり、どれが欠けても実現できない。弓削高校存続は、今の中学 2 年生から、これから先生まれてくる子どもたちに高校進学の実機を残す大きな意義があり、町から教育の火を消してはならない。



藤田徹也委員

上島町生名船舶事業会計予算に対する修正案（提出者：大西幸江委員）

立石港務所管理業務 1,400 万円減額

提案理由（要旨）

年間 2 億以上の公金を扱ってきた町の事業であり、岩城橋開通後には 3 億円以上の公金を扱うことが予想される。地方自治法では、公金を私人に扱わせることは禁止されており、行政の金銭に関しては、基本行政で取り扱うものとする。また、3 年ほど前に公営に戻したばかりであり、町の行政運営の一貫性といった観点からもたびたび形態を変えることは、住民から行政運営への不信を招きかねず、議会としてはこれを看過できない。



<反対討論>「航路廃止事業者の働く場の確保必要」

今回の立石港務所管理業務は岩城橋建設に伴う航路廃止事業者の救済の意味合いが強いもの。現在、会計年度任用職員等の方々の雇用については、最大限受入れるとの事であり、民間委託しても職を奪われる方はいない。永年、岩城の航路を守って頂いた事業者の働く場の確保であり、町が町民を見捨てない意思表示だと考える。



徳永貴久委員

<賛成討論>「町が一括して管理運営を行うのが道理」

生名渡船の立石港務所管理業務及び生名船舶安全管理業務は直営で一括して管理運営を行うのが道理。限られた財源の有効活用と行政運営の効率化を図るためとあるが、あまりにも形質的で抽象的。また、岩城橋開通に伴い、乗船客及び車両とも輸送量が 1.3 倍に増加すると試算しているが、立石港務所は上島町の玄関としての役割を担い、非常に重要な流通の拠点となり、町の発展に大きな役割を果たすべく様々な機能を有してあると考えている。円滑に機能させ、公平な行政サービスを提供し、町の発展を見据えた対応ができるのは町であり、町職員と考える。



濱田高嘉委員

どう使われる？ 私たちのお金

1. かみじま音楽祭実施補助事業 1,500万円

【予算概要】

- ・実行委員会を立ち上げ、島民に都会と変わらぬ音楽ライブを提供することで、音楽を通じた町内の交流による町の一体感・シビックプライドを醸成し、さらに町外との交流により、上島町を全国・世界に情報発信し、町の活性化を図る。
- ・開催予定は11月下旬から12月上旬の日曜日、弓削体育館を予定。



前回のかみじま音楽祭

~~~~~  
**徳永委員**

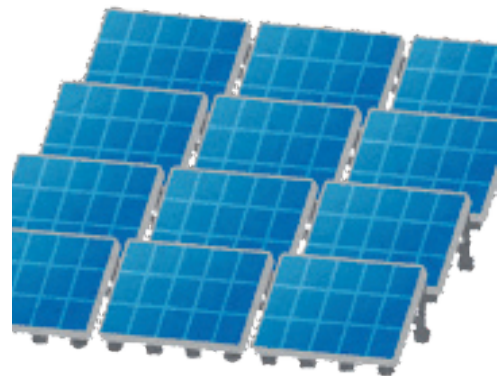
- ・コロナ禍で不確定要素が多すぎる。中止する基準等計画はあるのか。

答) 危険な事は敢えてする必要はない。11月、12月にコロナが治まっていない場合、中止も含めて慎重に対応しなければならないと考えている。

### 2. 岩城庁舎太陽光発電設備設置工事 4,600万円

#### 【予算概要】

- ・脱炭素化社会の実現に向けて、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという目標を掲げ、2030年までに約50%の公共施設に太陽光パネルを設置するという方針に伴い、第一弾として岩城庁舎の屋上に太陽光発電パネルと併せて、災害時に自律的に稼働する蓄電池設備を整備。



~~~~~  
大西委員

- ・年間いくらかの電気代削減となるのか。

答) 年間50万円の電気代削減、10年程度で町の支出分を回収見込み。

池本光章委員

- ・他地区の庁舎への設置計画は。

答) 他庁舎等についても、建物の老朽化やパネルの設置可能面積等勘案しながら検討していきたい。

林敬生委員

- ・余剰電力の庁舎以外での使い道はあるのか。

答) 岩城庁舎で使用する電力の30%を賄う計画。他の電力供給は難しいと考えているが、災害等の場合はその電力の活用を検討したい。

3. プレミアム商品券事業 1億200万円

【予算概要】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売り上げ減少が著しい町内の飲食店及び小売店等で使用可能なプレミアム付き商品券を発行することにより、消費の拡大及び地域経済の回復を図る。
- ・町内各事業所で使用でき、プレミアム率は50%（個人負担5,000円で7,500円分の商品券）、1人2セット（1セット7,500円の内訳は町内事業者専用券3,500円と共通券4,000円）まで購入可能。



4. 子ども医療助成事業 1,620万1千円

【予算概要】

- ・子育て環境の充実を目的として就学前までの医療費完全無料化（0歳から6歳）に加え、小学1年生から中学生以下の対象を18歳以下までに拡充し、医療費助成を行う。
- ・令和4年10月から事業開始予定。



林敬生委員

- ・18歳以下まで拡充ということだが、高校生限定か。また、18歳の誕生日でこの制度活用は終了か。

答）対象は上島町に子ども又は保護者が住民登録をしている方。社会人、学生は問わない。
18歳になる年度末まで制度の対象。

5. 港湾改修・海岸メンテナンス事業 8,030万円

【予算概要】

- ・国の交付金を受け、港湾・海岸施設長寿命化計画に基づいて改修を行い、港湾・海岸施設の延命化を図る。
- ・長江港の岸壁、^{りっこう}陸閘補修改修、立石港のポンプ場改修を行う。



改修予定の長江港陸閘

大西委員

- ・今後、長江港の利活用の方針は。
- ・港務所に使用していた建物の活用計画は。

答）町で管理している港湾の中で一番規模の大きな港湾。フェリー航路が廃止となったが、災害時の資材の運搬拠点として、重要な施設と考えている。長寿命化計画を基にして補修工事を実施していく。

- ・イベント等に使用する等、他課と調整、協力しながら検討していきたい。

6. 史跡保存活用計画策定支援業務委託 337万7千円

【予算概要】

- ・国史跡に指定された弓削島荘遺跡を適切に保存、活用するため、保存計画を策定。保存活用計画は事務局でも策定が困難なため、委員会及びノウハウを有する専門業者と共に計画を策定していく。



弓削島荘遺跡公式パンフレット

池本光章委員

- ・どの程度の活用規模、内容を期待し委託するのか。

答) 町全体で弓削島荘遺跡を活用した観光づくりに役立てようと考えている。

大西委員

- ・専門的に保存、展示方法等のアドバイスを求めるならば業務委託も理解できるが、史跡を保存し観光に活かす事がメインに聞こえる。それであれば、まずは自分たちの形を作った上でコンサルに投げかける方が良いのではないか。

答) 町として、どの方向に行くのかという骨組みは組んでいかなければならないが、計画が20年、30年続くものではない。そのために職員を増員や専念させると他の業務もおろそかになる。そのために専門家に依頼し、集中的に行っていく。職員も学んでいくが、専門分野については専門家と協議していくべきと考えている。

7. 未来型果樹産地強化支援事業 2,194万円

【予算概要】

- ・愛媛県の新たな果樹農業振興計画の基本理念「未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立」のもと、未来型果樹園を核とした産地の強化を図るもので、高品質高収量のために必要なハウス、かん水施設の整備を行う。
- ・補助率は愛媛県が3分の1、上島町が6分の1、個人負担が2分の1。



高品質柑橘栽培に活用される農業ハウス

寺下委員

- ・レモン苗木補助事業との関連は。またレモン苗木の追跡調査は行っているのか。

答) 今回の補助でハウスを建設、レモン苗木補助事業で苗木を購入してもらい、レモンを育てていただくことを想定。事業開始から実をつける頃となっており、当初配布した苗木の調査を今年度行っている。

大西委員

- ・レモン苗木の追跡調査を踏まえ、政策に活かしていくのか。

答) レモン苗木補助制度がニーズに合っているのかどうか、また改善点等あれば検討してまいりたい。

一般質問

令和4年3月8日に開催された第1回定例会では、5名の議員が一般質問を行いました。答弁に関しては、理事者側答弁ということで答弁者の個人名は省略。また一般質問は質問者が400字程度で要約しています。

藤田 徹也 議員



ゆめしま海道をサイクリストの聖地に

問

ゆめしま海道全線開通を目前に控えて世界のサイクリストの中でも大きな話題となっておりサイクリストの聖地として町は世界を意識した知名度向上のプロセスはお持ちなのか。

答

サイクリングガイド育成とプログラム作成を実施し情報発信と受け入れ態勢の強化を図っている。今治市、尾道市、上島町を中心に設立した「しまなみジャパン」において海外誘客促進事業

を展開している。さらに本州四国連絡高速道路株式会社との連携を進め上島町発展の為様々な施策を実施する予定。

問

サイクリング、キャンプ、シーカヤック体験、サップ体験、ヨット遊覧船等、観光客増加が見込まれる中、生産者及び町内出店希望者の商品を一堂に集めた道の駅が必要だと思うがどう思われるか。

答

今現在検討中であり担当課と精査、調査している。大きな財源が必要であり国の補助金、支援金を探し町民の税金を少しでも使わなくてもいいような計画にしたい。

寺下 満憲 議員



住民福祉を後退さすな

問

生名保健センター・地域包括支援センターを皮切りに、上弓削保健センター・包括支援センターも職員無人化となり、4月1日から岩城保健センター事務所が地域住民に説明もなく突然移転する。

上弓削保健センターが、2020年8月、地域住民に説明がないまま移転し、12月議会と同僚議員が問題にして、町は、前町長の指示で「人員経費の削減、効率化をはかるため、公共施設の統廃合につ

いて計画した。前町長の決定事項であり、地域住民への説明が必要であったことを認識せず準備を進めたことを反省している」と、答弁しているにもかかわらず、また、住民に何の説明もなく統廃合が繰り返されるのか。

答

「集約した方が住民サービス向上につながる」「直接、住民説明はしていない」

職員、担当、課長だけでは十分な意見が反映できないと思い保健師と協議して、現場からの声を集約した方が住民サービス向上に良いとの声を生かして判断した。

レンタサイクルの保管と活用計画は

問

2020年に脱コロナに向けた協生のすすめで、地域の皆さんが力を合わせ

てコロナという見えな敵と知恵と工夫を出し合って闘うときとして、国から目の届かない地域の現場を知り尽くした地方自治体だからこそ独自の対策のために1兆円の交付金が、国の方で予算化された。

上島町では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金として1億900万円交付された。その一部を活用してコロナ収束後に備えた活動の新しいチャレンジを目指し、レンタサイクル保管庫470万円、レンタサイクル531万648円で購入したサイクルの配置と管理と収束後の施策計画を示してください。

答

ゆめしま海道全線開通記念キャンペーン実施で誘客を図り、町の認知度向上、リピーターの獲得、レンタサイクル利用促進



問

防災情報伝達システムの更新による

災害時の電源確保状況について説明を求む



林 敬生 議員



レンタサイクル配置場所

弓削ターミナル	38 台
生名ターミナル	36 台
岩城ターミナル	36 台
魚島ターミナル	2 台

保管庫 3 基
新自転車 54 台
ヘルメット 60 個

を図り、国内外にPRをしていく。また、町内消費を見据えた施策として、事業者との連携を図り誘客促進を考

り、個人の携帯端末、主には携帯電話・スマートフォンに防災情報を配信していくという形になっていくが、災害の発生により、上島町内に送られる電力が喪失した場合の情報発信・中継機器及び携帯端末の電力の確保状況について説明せよ。

答 消防本部は自家発電機により最大30時間の発電が可能であり、燃料調達により以降の稼働可能。町内12か所の電波中継基地も蓄電池により2日間稼働可能。個人の携帯端末については、モバイルバッテリー等で災害発生当初は給電していただき、町内35か所の避難所では、消防本部6台、町内土木業者保有29台の発電機により供給可能な状況となっている。また、電源供給可能な自動車を所有する方への車両配備の把握を進めている。

答

人材育成として、技術面だけ

問 新型コロナウイルス、原材料等価格高騰の現状を踏まえ、基幹産業の一つである農業をどのように維持、発展させていくのか。

町の農業施策を問う



徳永 貴久 議員



モバイルバッテリー例

でなく健全な農業経営ができるよう、上島町地域担い手育成総合支援協議会と連携、認定新規就農者に支援していく。来年度、次世代人材投資事業準備型の創設に向けて計画を進め、令和5年度から希望者を受け入れられるよう、認定研修機関の申請を行う等の受入れ体制を整えている。基盤整備として、今年度、県営樹園地再編整備推進事業を活用、圃場整備及び区画整理の実施に向けた基礎資料を作成。遊休農地の再生、新たな担い手の園地確保、レモンの生産量拡大に取り組んでいく。販路開拓支援として、いわき物産センターとの連携、青いレモンの全国的な知名度向上に重点を置き、販売促進活動費の助成等を計画。

就農者の負担にかか

問 他県市町で行っているような新型コロナウイルス感染症に対する上島町独自の施策なり構想はあるのか。

町有施設で感染者が出た場合、上島町においてのルールはどのように決められているのか。

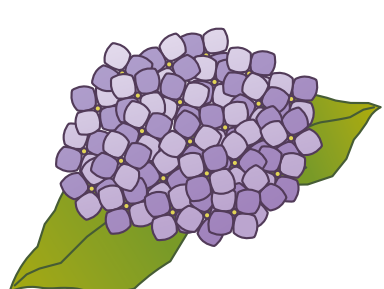
上島町独自のコロナ対策を実施せよ



大西 幸江 議員



はなく、就農計画の作成、融資等、町内JA、県のしまなみ農業指導班等と連携をし、側面的な支援の充実も図っていく。



答 感染者が発生した場合、保健所がすべて対応することとなっている。保健所からの要請があった場合は、上島町が積極的に協力する。

愛媛県からの要請、情報並びに上島町からの注意喚起や対応策を、防災アプリや告知端末により、いち早く町民に周知を行っている。

上島町の職員が陽性になった場合は、事業所としての判断で公表しており、町有施設で感染者が確認された場合も公表する予定にしている。



積善山から望むゆめしま海道

あなたの声をお聞かせください

町民の皆様の声を募集しております。身近で起こった出来事、議会について思っていること、ご希望・ご要望など何でも結構です。是非、議会広報委員会宛にお送りください。

〈応募要件〉

500字程度でお願いします。紙面の都合上、掲載されないことがあることをご了承ください。

原稿もしくは電子メールにてご応募ください。

住所・氏名は明記してお願いします。匿名はお受けできません。

〈送り先〉

〒794-2592 上島町弓削下弓削210
上島町議会事務局「議会広報委員会」宛
TEL：0897-77-2500
FAX：0897-77-4011
E-mail：gikai@town.kamijima.ehime.jp



議会の活動予定

6月	13日(月)	議会運営委員会
	14日(火)	全員協議会
	21日(火)	定例会
	23日(木)	予算決算委員会
	28日(火)	予算決算委員会 定例会(再開)

毎月1回 月例出納検査

議会・全員協議会・常任委員会は、どなたでも傍聴できます。詳しい日程は、議会事務局（☎77-2500）までお問い合わせください。

編集後記

早いもので私が広報委員会の一員となつて一年半が過ぎました。超アナログ人間の私ですが、徳永委員長を始め同僚委員の方々にフォローして頂きながら、何とかここ迄やって来れたかなと思います。さてこの度、岩城橋が完成し、ゆめしま海道が開通となりました。町民の皆様には様々な想いもあると思いますが、ゆめしま海道開通により町民同士の繋がりがや交流も増え、より一層活気溢れる上島町に成って行ければなと思います。

この議会だよりも、もっと興味を持って頂き、上島町の明るい未来の為に少しでもお役に立てればと思っています。

山上 耕司



上島町議会 広報委員

委員長 徳永 貴久
副委員長 藤田 徹也
委員 寺下 満憲
大西 幸江
宮地 利雄
山上 耕司
林 敬生